

通常学級における特別支援教育に資する 「連携スキル」研修カリキュラムの開発をめざして

通常学級における特別支援教育の実践に資する連携。

それを実施するための教師のスキル（「連携スキル」）は、いかなるものか。

私たちは、連携事例の中から「連携スキル」を見出すべく本事例報告集を編集しました。

その上で、「連携スキル」を伸長するための研修方法を開発することを目指しています。

1 事業の目標	通常学級における特別支援教育を効果的に実践するための連携スキルの向上に資する研修カリキュラムを開発し、展開する。	
2 事業の期間	平成 28～33 年度までの 6 年間	
3 事業の展開	平成 28 年度 連携事例の収集（連携スキルを明確化するための資料とする） 平成 29 年度 連携支援の構築と活用（これを連携事例として収集する） 平成 30 年度 連携スキルの明確化（これに関わる連携事例を収集する） 平成 31 年度 連携スキル研修カリキュラム開発 平成 32 年度 研修カリキュラムの改良と実施 平成 33 年度 研修カリキュラムの実践報告と手引き作成	
4 連携事例	幼稚園・保育園・認定こども園における連携事例	28 - 1
	小学校における連携事例	28 - 2
	中学校における連携事例	28 - 3
	高等学校における連携事例	28 - 4
	特別支援教育エリアコーディネーターにおける連携事例	28 - 5
	特別支援教育エリアコーディネーターにおける連携事例	28 - 6
5 その他の 関連事業	平成 28 年度には、下記によって連携状況に関する情報交換を実施した。 （ 1 ）特別支援教育セミナーの開催（6 回、関係機関主催事業への協力等による） （ 2 ）県内各地「特別支援教育コーディネーター連絡会」等への陪席（ 1 2 回）	

本事業にかかわりご協力をいただきました岩手県教育委員会をはじめとする関係機関、関係の皆様感謝申し上げます。

平成 29 年 3 月 31 日

平成 28 年度 附属学校特別支援連携専門委員会 委員長 我妻則明